

<第2回 横浜市旭区民文化センター指定管理者審査委員会>

- (1) 平成17年1月20日12時40分～ (2)横浜市旭区民文化センター  
 (3) 大谷委員、齋藤委員、千賀委員、千徳委員、渡邊委員 (4) 傍聴者 無し

<議事内容>

1	議題（概要）	<p>第1次提案書審査</p> <p>2次審査にかかる団体の選定を行いました。</p>
2	委員意見等	<p>事務局：各社全てが財務内容は概ね良好という判断で、財務上の資格については問題無いと判断しています。</p> <p>全委員：了承。</p> <p>委員：4団体しか出ていませんので、基本的には相当ひどくなければ2次審査に進んでもらいたいというスタンスだ。団体Aは基本的にはいい提案だが基本方針はいま一步で、再考が必要だと思う。基本方針の表現などに理解しにくいところもある。団体Cは、他の面では強みもあるが、運営のための基本方針が全体的に力不足でいま一步だと思う。団体Bは全体的なバランス等を見て良く書けている。団体Dも基本的にはいいが、基本方針や達成目標について、若干問題点が見られる。</p> <p>委員：団体Aは、特に魅力的というわけではないが、一応はクリアしている。稼働率が高いのにある一定の団体に部室化させてしまうことが実際に可能なのかななどを2次審査で聞いてみたい。団体Bは現状の把握をして、その上で次のステップというふうに捉えており他の提案に比べて評価が高い。1番惹かれたのは西部地区のモデル施設になるんだという意欲。あとは、経年劣化をここだけが言及している。団体CはITを凄く強調して全然違うアプローチなので新しい何かがあるのかもしれないと思い、2次提案で具体的に提案を聞いてみたい気がする。団体Dは、このホールが個性のあるホールに成長したという言い方をしているが、その個性は何か、もう少し具体的に考えた提案を見たかった。ただ提案の中にデジタルアーカイブという形で活動を残しておくことや、TV媒体との協力などが期待でき、その辺はプラスになった。</p> <p>委員：団体Aは矛盾しているところなど色々あった。情報・ネットワークが次のページにいくと無いとかだ。団体Bは、文章上色々細かく書かれています。良いのかなと思った。それと他の文化センターとの関わりもつけている。団体Cは折角出してきたということと、文章上からは判断できないと思った。団体Dは、知恵を出し合って色々やってきたと思った。</p> <p>委員：団体Aは見たところとても目新しいことが書いてある。ただスタッフなどを5年計画で育てるとあり、すでに他でやっているのに、今はどういうスタッフなのか気になった。団体Bは、継続性がないということ、足りないなと思っているところを凄く口当たり良く沢山書いている。複合ビルで、使い勝手が悪いところだが、そこに対して良く館を知っていた。団体Cはビルのメンテナンスとでは色々なものを持っていると思うが、芸術文化ではどうか。団体Dは、やはりメセナとかメディア力は私たちが何か活動するときそういう力を持っている電鉄が関わると、もう1つ何か広がるかという希望的観測だ。</p> <p>委員：委員が言った継続性の問題は非常に重要だと思う。施設の老朽化も指摘される状況下で、この施設をどういうふうにもまく使うかということは重要な問題だと思う。団体Aはソフトのノウハウが弱いというふうに判断せざるを得ないと思う。団体Cも誤解を恐れずに言うと、清掃業務は強いと思うが会館のメンテナンス並びに文化事業ということになると、かなり差がある。団体Dは今回ソフトの展開ができる業者と組むなどある意味で前進している。ただ、今回一箇所ちょっとまずいと思ったところがある。達成目標の施設利用率が下がってしまっている点だ。</p> <p>委員：6団体以内の応募で、2次で新たな提案もあるかも知れないので、今回</p>

		の4団体はすべて通過団体としてよろしいか。 全委員：了承。
3	審議結果	1次で応募のあった4団体すべてから、2次提案書を出してもらうことにしました。